

銀行取引

銀行と取引先の
ための法律知識



有斐閣
選書

加藤一郎・吉原省三編

銀行取引

銀行と取引先の
ための法律知識



有斐閣
選書

〔第4版〕

銀行取引 [第4版] <有斐閣選書>

昭和44年11月30日 初版第1刷発行
昭和53年3月10日 新版初版第1刷発行
昭和55年10月15日 第3版第1刷発行
昭和56年12月15日 第4版第1刷印刷
昭和56年12月25日 第4版第1刷発行

定価 1,900 円



編 者	加 藤 一 郎
	吉 原 省 三
発 行 者	江 草 ただ あつ
発 行 所	株式 有 斐 閣 会社

東京都千代田区神田神保町2～17
電 話 東京 (264) 1311 (大代表)
郵便番号 [101] 振替口座東京 6-370 番
本郷支店 [113] 文京区東京大学正門前
京都支店 [606] 左京区田中 門 前 町 44

印刷 堀内印刷・製本 稲村製本
©1981, 加藤一郎・吉原省三. Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取替いたします。

ISBN4-641-08002-X

第4版まえがき

この本は、従来の『銀行取引』を全面的に見直し、必要な部分は書き直して改訂したものです。旧版は昭和四四年一月に初版が刊行され、以後昭和五一年五月まで、四回の改訂を行ってきました。ところがその間、銀行取引をとりまく客観情勢は、大きくかわってきました。

たとえば、銀行取引についてもっとも大きな関係をもつ金利の規制にしても、不十分ながら自由化の方向に進み、預金についてはガイドライン方式がとり入れられ、貸出金利については、自主規制金利方式が廃止されて、プライムレート方式に切りかえられました。そして金融情勢も、経済成長の鈍化を反映して、緩和の方向に向っております。また、判例や法律にも、いろいろな変更がありました。たとえば、相殺に関する昭和四五年六月二四日の最高裁大法延判決は、従来の判例を変更して銀行取引に大きな影響を与えましたし、根抵当に関する民法の改正などもありました。また、仮登記担保のように、判例法の発展から、立法化にいたった問題もあります。さらに、銀行側にも、いろいろな変化がありました。たとえば、総合口座のような取引が誕生し、為替取引のシステムも一新されました。そして、割増金付定期預金のように再登場してまた廃止となったものもあります。また各種預金規定の制度や、手形交換所規則の改正など、銀行取引全般に対する見直しが進められています。

このようななかで一つの特徴的なことは、銀行取引に対する再検討が、銀行側の立場からだけ

ではなく、取引先の立場からも要請されていることでしょう。昭和三十七年に制定された銀行取引約定書ひな型が、主として銀行側の立場から、債権保全と取引の便宜を狙いとして作成されたものであるのに対し、昭和四十九年に制定された当座勘定規定ひな型は、行政管理庁の「消費者保護に関する行政監察結果に基づく勧告」や、国民生活審議会の「金融サービスに関する消費者保護についての答申」などをふまえて、約款の合理性と対等性に注意を払っています。そして従来は、銀行の権利を保全することが銀行の経営の健全性を守り、それが預金者保護につながるという考え方が強かったのですが、預金者の保護は預金者保険のような形で行い、銀行は自由競争をすると共に、取引先との危険の分担については対等で処理すべきだという考え方が出てきています。

このような情勢を背景として、本書も、現在の銀行取引にあった形で項目を再編成し、全面的に見直す必要が出てきました。そこで、旧版の執筆をお願いした方々の意向もうかがい、そのうち後記の方々の御協力を得て、全面的に見直しをし、編集者がこれをまとめるという形で改訂を行いました。したがって、体裁は旧版と同じですが、内容的には現在の銀行取引をふまえて書き直し、昭和五三年三月新版を発行しました。そして、できるだけ新しい問題を取り入れ、現在の銀行取引に役立つようにするという方針から、昭和五四年八月の再版の発行にあたり、譲渡可能定期預金の発行、仮登記担保契約に関する法律の発行などに関する事項を加筆し、更に昭和五五年一〇月の三版発行にあたり、民事執行法の制定に伴う債権回収手続の変更などについて修正しました。そして、今回の改訂にあたっては、昭和五四年一二月に外国為替及び外国貿

易管理法が全面的に改正され、昭和五五年一二月から施行されたので、これに伴い外国為替の部分をかかなりの程度を書き直したほか、新たに取扱いの開始された期日指定定期預金の説明と、昭和五六年六月に行われた商法等の一部改正、及び六月一日に公布された新銀行法についての説明を加えました。また金利については、昭和五六年一〇月一日現在の諸金利の一覧を巻末に掲載してあります。

以上のような次第ですが、本書が銀行取引を理解するについて参考となれば幸いであると考えております。

昭和五六年一〇月

編 者

初版まえがき

自動車運転免許の試験問題に、「道路交通法を覚えるのは、違反をして警官に捕まったとき議論をするためであるか、それとも円滑で安全な運転をするためであるか」というのがありました。その答が当然後者であるように、銀行取引において法律知識が要求されるのも、事故が起った際の解決を図るのが目的ではなく、取引自体を安全円滑に行うためにほかなりません。また、銀行と取引する側にとっても、銀行取引がどのようなしくみになっており、どのような法律構成によって裏付けられているかを知っておくことは、銀行を上手に利用し、取引上のトラブルを防ぐために必要なことといえましょう。

ところで、銀行取引に必要な法律知識は決して特殊なものではありませんが、自動車の運転に運転技術が不可欠のように、まず銀行取引がどういうものであるかを理解しなければ、その法律構成を知りそれを取引に生かすことはできません。そこで、この本では、銀行取引で問題のある主な点を一つずつ具体的に取上げ、これを法律的に検討するとともに、全体として銀行取引全般についての解説書となるように工夫してみました。

銀行取引に必要な法律知識は、たんなる教科書的な知識ではだめで、実務に密着したものでなければなりません。たとえば、債権の準占有者に対する善意の弁済は免責されるということを知

っているだけでは無意味であって、銀行が預金の払戻に對して現実にどの程度の注意をつくせばよいのかということをも具体的事例について判断できるのでなければ實際の役には立ちません。また、線引小切手を取引先でない者から受入れてはならないということを知っておくことはたしかに必要ですが、なぜそれがいけないのか、そして違反に對してはどういう責任を負うのかということまで理解していなければ、ほんとうに身についた法律知識だといひにくいでしょう。

この本は、現在の銀行業務の實情にそつて問題を説明するようにし、見方がかたよらないようにするために、できるだけ多くの方々に執筆していただきこれを編集者がまとめるという形で書かれています。そして、最近の銀行業務の多様化に伴い、いわゆる新種業務についても、できるだけとりあげて検討してみました。また、ある程度銀行取引について知識のある人であれば理解できるように、なるべくわかりやすく書いたつもりです。事柄の性質上、銀行側から説明した方が理解しやすいので、そういう形になっていますが、銀行員ばかりでなく銀行と取引する人にとつても、銀行取引についての入門書として利用していただけるものと思います。もっとも、一応の基礎的な法律知識は前提としていますが、銀行取引に關係のある方々ならば、だいたい理解していただけるでしょう。また、問題は項目別に配置されているので、手許において日常の業務の參考にすることもできるでしょう。

昭和四四年一月

編 者

◆執筆者紹介（五十音順）

足立	禎（あだち ただし）	小樽商科大学教授
大山	広（おおやま ひろし）	全国銀行協会連合会総務部次長
加藤	一郎（かとう いちろう）	東京大学教授
財津	耕造（さいつ こうぞう）	全国銀行協会連合会業務部調査役
佐藤	健（さとう たけし）	全国相互銀行協会総務部副部長
田中	豊（たなか ゆたか）	全国信用金庫連合会企画調査部調査役
原田	英介（はらだ えいすけ）	住友銀行事務管理部長
彦坂信次郎	（ひこさか しんじろう）	金融財政事情研究会参与
松本	崇（まつもと たかし）	三菱信託銀行審査部顧問
吉原	省三（よしはら しょうぞう）	弁護士，弁理士
東京信用保証協会企画課		

引用法令・判例集の略記法

外 銀	外国為替銀行法	たばこ	たばこ専売法	銀 取	銀行取引約定書
会 計	會計法	地 税	地方税法	當 約	当座勘定規定
会 社 更 生	会社更生法	中 協	中小企業等協同組合法	蔵 銀	大蔵省銀行局通達
刑 訴	刑事訴訟法	獨 禁	私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律	徴 徴	国税庁徴収部徴収課通達
小 切 手 法	小切手法	手 形 法	手形法	民(刑)錄	大審院民(刑)事判決錄
厚 保	厚生年金保險法	年 金	国民年金法	民 集	大審院民事判例集
国 健 保	国民健康保險法	納 税	納税貯蓄組合法	高 裁 民 集	高等裁判所民事判例集
国 税 犯 則	国税犯則取締法	破 産 税	破産法	下 裁 民 集	下級裁判所民事判例集
塩 專 売 法	塩專売法	破 産 法	破産法	裁 判 例	大審院裁判例
失 保	失業保險法	不 動 産 登 記 法	不動産登記法	新 聞	法律新聞
商 法	商法	法 人 税 法	法人税法	判 例 時 報	判例時報
所 得 税 法	所得税法	民 法	民法	金 融 法 務 事 情	金融法務事情
信 金	信用金庫法	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	判 例 時 報	判例タイムス
税 特 措	租税特別措置法	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	民 四 五 〇 一 号	民法四五〇条一項一号
税 特 措 令	租税特別措置法施行令	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	判 例 時 報	判例時報
税 徴	国税徴収法	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	判 例 時 報	判例時報
滞 納 法	滞納処分と強制執行との 手続に関する法律	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	判 例 時 報	判例時報
和 議	和議法	民 法 施 行 規 則	民法施行規則	判 例 時 報	判例時報

本書利用の手引

■本書は、銀行取引のなかで起るさまざまな疑問やトラブルを一つずつとりあげ、どう解釈し処理したらよいかについて、銀行と取引先の両当事者が十分納得のいくよう、銀行業務の実情にそって具体的にわかりやすく解説したものです。しかも、各問の見出しそのものが結論になっているので、すばやく問題のメドをつかむことができます。

なお、業務の多様化による新しい取引や法律問題、専門的な用語や取引のしくみは、**囲み記事**として別に説明してあります。

■本書は、次のように利用されると便利です。

①まず、目次を調べて下さい。普通の場合は、目次であなたが調べたいと思われる項目を探すことができますでしょう。少くとも、どこをみればよいか大体的見当がつきます。

②目次によって大体的見当がつきましたら、該当項目のページを開いてください。たとえ直面する問題に答えられなくとも、それに近い項目を調べるこ

とにより必要なヒントが与えられると思います。関連項目はその問題番号やページで示してありますから、そこも参照して下さい。

③法律上の問題点や重要点についてもっと詳しく調べたい方は、判例の出典が示してありますから参照してください。

④銀行取引に関してしばしば使用される一般用語や法律用語の意味およびその手続をお知りになりたい方は、巻末の索引を利用してください。

⑤銀行にお勤めの方はもちろん、当座勘定取引をなさっている方や銀行融資を受けておられる方は、はさみこみの約定書・規定をご参照のうえ本書を読んでください。

■本書によって、銀行取引に関するかぎり、あなたの知りたいことやわからないことがおおむねわかり、今後どういう対策をとったらよいかを判断することができると思います。

『有斐閣選書』の刊行に際して

現代は今や激動と発展の時代であるといわれています。戦後二十数年、私たちをとりまく内外の情勢には、政治・経済・文化の各面で、めざましい変化が起り、時代はまさに重大な転換期にあるといえます。人類が月に足跡を印したということも、この新しい時代の到来をつげるものでありましょう。そしてこのような大きな変化、とりわけ新しい科学と技術の発展にともない、一般大衆の知的欲求は、年ごとに高まり、拡がりつつあります。

したがって、学術文化の普及にも新しい創意と工夫を必要とすることを痛感いたします。わが社は、この時代的要請に応えるため、ここに想を新たにしておいて、この選書を発足させることを決意しました。

テーマは、広く現代の課題を選び、新時代にふさわしい専門知識の普及をはかるとともに、具体的な素材を通じて鋭い現実感覚を養う内容のものとしたいと念願します。そのため、斯界の権威と新鋭にお願いして、その貴重な研究成果を簡明平易に叙述していただき、清新な装いの普及版として、多くの人々に親しみやすいものとなるように期しております。市民・学生をはじめ、広く現代社会人の知的要求に即応するこの選書誕生の趣旨をくまなく、切に皆様のご支援をお願いしてやみません。

(昭和四十四年十一月)

有斐閣選書 既刊と続刊

法律・政治

伊藤正己・乾 昭三編
權利の事典

中川善之助・遠藤 浩他著
市民のための法律入門

石村善治・奥平康弘編
知る 權利

磯村 哲編
現代法学講義

伊藤 進・木元錦哉他著
消費者の權利

片岡 昇・乾 昭三他編
法学の基礎

山村恒年著
環境アセスメント

片岡 昇・乾 昭三他編
法と現代社会

杉村敏正・光藤景皎他編
警察法入門

小林直樹・水本 浩編
現代日本の法思想

好美清光・米倉 明他編
民法読本

阿部照哉・畑 博行他著
憲法読本

(1) 総則・物権法
(2) 債権法
(3) 親族法・相続法

和田英夫編
憲法教室

水本 浩著
土地問題と所有権

池田政章編
憲法の歩み

水本 浩著
土地政策と住宅政策

伊藤正己・甲斐道太郎編
現代における權利とはなにか

格 寿夫・五十嵐清他著
口述債権総論

北川善太郎編
現代契約法入門

遠藤 浩・松本治雄他編
マイホーム入手法

遠藤 浩・松本治雄編
ハンのトラブル防止法

不動産法研究会編
不動産取引

乾 昭三・平井宜雄編
企業責任

竜田 節編
商法略説

伊藤 進・野村好弘編
子供の事故に備える法

上柳克郎・河本一郎編
企業・経営と法

篠原弘志・田郷正義編
談示

加藤一郎・吉原省三編
銀行取引

高橋曉止・藤木英雄他著
食品・薬品公害

福田 平著
市民のための刑法

宮井忠夫著
家族法教室

藤木英雄著
新しい刑法学

島津一郎著
妻の地位と離婚法

板倉 宏編
企業犯罪・ビジネス犯罪

明山和夫著
現代家族と福祉問題

萩沢清彦・山口俊夫編
労働法読本

泉 久雄・山崎賢一他編
相続・贈与

下井隆史・保原喜志夫他著
労働法再入門

遠藤 浩・松本治雄編
隣り近所とつきあう法

伊藤正己・大石泰彦他著
社会科学を学ぶ

飯坂良明・清水 望他編
* 世界政治ハンドブック

勝田吉太郎・加藤一明他編
現代デモクラシー論

三宅一郎・山川雄已編
* アメリカのデモクラシー

山口 定著
フアシズム

河原 宏・浅沼和典他著
日本のフアシズム

宮本盛太郎著
天皇機関説の周辺

宮本盛太郎編
北一輝の人間像

菊地昌典・穴戸 寛他著
中ソ対立

その基盤・歴史・理論

伊藤正己・大石泰彦他著
社会科学を学ぶ

芦部信喜・河本一郎他著
法学を学ぶ

奥平康弘・杉原泰雄編
憲法を学ぶ

森下 忠・香川達夫編
刑事政策を学ぶ

遠藤 浩・川井 健編
ワークブック民法

経済・経営

浅野栄一編
ケインズ経済学

室井 力・塩野 宏編
行政法を学ぶ(1)

外尾健一・片岡 昇編
労働法を学ぶ

服部栄三・蓮井良憲編
ワークブック商法

宮本義男・夢山 泉編
教養の経済学

能勢信子・小玉佐智子著
現代家族経済学

室井 力・塩野 宏編
行政法を学ぶ(2)

小川政亮編
社会保障法を学ぶ

中野貞一郎・松浦 馨編
ワークブック民事訴訟法

伊藤善市著
現代人の経済学

青木 茂編
家庭の経済相談

行政訴訟・国家補償他
永井憲一・堀尾輝久編
教育法を学ぶ

正田 彬・実方謙二編
独占禁止法を学ぶ

福田 平・大塚 仁編
ワークブック刑法

力石定一著
市民のための経済入門

浅野栄一・伊賀 隆編
所得の経済学

木本 浩・藤塚昭次編
民法を学ぶ

内田久司・山本草二編
国際法を学ぶ

光藤景皎・田宮 裕編
ワークブック刑事訴訟法

相原 光・力石定一他著
現代経済をみる眼

辻村江太郎編
インフレーションの経済学

谷川 久・竜田 節編
商法を学ぶ

内田 満・内山秀夫編
政治学を学ぶ

太寿堂鼎・波多野里望編
ワークブック国際法

杉原四郎・尾上久雄他編
科学としての経済学

安居 洋・眼野 隆他著
日本のインフレーション

長浜洋一・平出慶道編
会社法を学ぶ

関 寛治編
国際政治学を学ぶ

飯坂良明・堀江 洪編
ワークブック政治学

杉原四郎・尾上久雄他編
現代の経済

森 宏・辻村江太郎他著
物 価

菅原菊志・前田 庸編
手形・小切手法を学ぶ

田中 実・川添利幸編
ワークブック法学・憲法

島野卓爾・丸尾真美編
現代経済学の事典

上野裕也・小林好宏編
価格と市場の経済学

竹下守夫・谷口安平編
民事訴訟法を学ぶ

田中 実・川添利幸編
ワークブック法学・憲法

宮沢健一・新野幸次郎他編
経済学と現代

宮崎義一・新野幸次郎編
管 理 価 格

内藤 謙・西原春夫編
刑法を学ぶ

池田政章・阿部照哉編
ワークブック憲法

内田忠夫編
新しい経済学

飯田経夫・山田浩之編
社会資本の経済学

松尾浩也・鈴木茂嗣編
刑事訴訟法を学ぶ

市原昌三郎・広岡 隆他編
ワークブック行政法

稲田猷一・岡本哲治他編
近代経済学再考

大内秀明・柴垣和夫編
現代の国家と経済

大内 力編

現代の景気と恐慌

柳原胖夫・安場保吉編
嵐の中の世界経済

水野正一・花輪俊哉編
金融の経済学
入門経済学4

石畑良太郎・佐野 稔編
現代の社会政策

新開陽一・根岸 隆他編
近代経済学教室

岡本哲治・稲田猷一編
経済数学のすすめ

島野卓爾・荒木信義編
円高・円安―
日本経済への影響

生川栄治編
現代の金融資本

小川喜一編
社会政策の歴史

加藤寛・内野達郎編
経済政策教室

奥山次郎編
* 教養の社会思想史

稲田猷一編
技術革新と日本経済

水野庄一・中桐宏文他著
* 日本の財政

安藤喜久雄・石川晃弘編
日本の経営の転機

林 信太郎・渡部福太郎編
国際経済教室

住谷一彦・伊東光晴編
経済思想の事典

川上正道著
資本論と日本経済

宮本憲一著
日本の環境問題

安藤喜久雄・石川晃弘編
日本の経営の転機

林 信太郎・渡部福太郎編
国際経済教室

杉原四郎・尾上久雄他編
経済像の歴史と現代

宮沢健一・新野幸次郎他編
現代経済体制論

柴田徳衛著
日本の都市政策

西田耕三著
高齢化問題への企業戦略

堀家文吉郎・中村孝士編
現代金融教室

本間要一郎・古川 哲編
資本論と現代

宮沢健一・新野幸次郎他編
現代日本経済論

田中喜助・池本 清編
貿易の経済学
入門経済学6

田崎醇之助・吉川栄一編
管理職の行動科学入門

安東盛人・土屋六郎編
国際金融教室
△新版▽

荒井政治・竹岡敏温編
概説西洋経済史

川口 弘・篠原三代平編
図説日本経済論

石田貞夫・東京銀行相談所編
貿易取引
△新版▽

橋本 勲・阿部真也編
現代の流通経済

宇田川瑠仁・吉国二郎編
現代財政教室

正田健一郎・作道洋太郎編
概説日本経済史

庄林三男・北沢康男他著
日本の中小企業

岡野行秀編
交通の経済学
入門経済学7

佐藤 肇著
流通産業革命

小山路男・山本正淑編
社会保障教室

隅谷三喜男編
昭和 恐慌

中村静治編
現代技術論

広岡治哉・雨宮義直編
現代の交通経済

宮本又次・内田勝敏著
日本貿易人の系譜

川口 弘・小林 昇他著
経済学を学ぶ

木下悦二編
現代の世界経済

暉峻紫三編
近代日本農業史

木宮高彦・森 美樹編
クルマ事典

染谷恭次郎編
資金繰り

川口 弘・小林 昇他著
経済学を学ぶ

竹内 宏・松永嘉夫編
世界経済の日本経済

近現代日本農業史

交通評論家集団編
過剰モータリオンを考える

近現代日本農業史

伊達邦春・大石泰彦編
近代経済学を学ぶ

横山正彦・金子ハルオ編
マルクス経済学を学ぶ

西村裕通・荒又重雄編
社会政策を学ぶ

大川政三・牛嶋 正編
ワークブック財政学

社会・心理・健康
右田紀久恵・高沢武司他編
社会福祉の歴史

佐藤金三郎・岡崎栄松他編
資本論を学ぶ

後藤幸男・小林靖雄他著
経営学を学ぶ

田中喜助編
ワークブック貿易論

佐藤 毅・鈴木 安他著
社会学を学ぶ

西村裕通編
現代の労働福祉

(1)資本の生産過程(1)
(2)資本の生産過程(2)
(3)資本の流通過程
(4)資本主義的生産の総過程(1)
(5)資本主義的生産の総過程(2)

小林製安治・米川伸一他編
西洋経営史を学ぶ(1)
工場経営の時代
小林製安治・米川伸一他編
西洋経営史を学ぶ(2)
統合経営の時代
小林正彬・下川浩一他編
日本経営史を学ぶ
(1)明治経営史
(2)大正・昭和経営史
(3)戦後経営史

秋元律郎・森 博他編
政治社会学を学ぶ
秋元律郎著
権力の構造
ウエーバーと社会主義
浜島 朗著
望月 嵩・木村 汎編
現代家族の危機
蒲生正男・山田隆治他編
文化人類学を学ぶ
真田 是編
現代の福祉

仲村優一・高沢武司他編
ワークブック社会福祉
ケリスワーク教室
仲村優二編
福田垂穂・前田ケイ他編
グループワーク教室

石井寛治・海野福寿他編
近代日本経済史を学ぶ(1)

石井寛治・海野福寿他編
近代日本経済史を学ぶ(2)

石井寛治・海野福寿他編
近代日本経済史を学ぶ(3)

津留 宏・小嶋秀夫編
概説心理学
大山 正・詫摩武俊他著
心理学を学ぶ

高野清純・深谷和子編
乳幼児心理学を学ぶ
高野清純・多田俊文編
児童心理学を学ぶ
伊藤隆二・坂野 登他編
教育心理学を学ぶ

清水嘉治・松原 昭編
経済政策論を学ぶ

久保村隆祐・原田俊夫編
商業学を学ぶ

水野正一・宮沢健一他編
ワークブック近代経済学

仲村優一・三浦文夫他編
社会福祉教室

小川利夫・高島 進他編
社会福祉学を学ぶ

巽 信晴・佐藤芳雄編
中小企業論を学ぶ

川合一郎編
金融論を学ぶ

高橋 誠編
財政学を学ぶ

森田桐郎・本山美彦編
世界経済論を学ぶ

伊藤隆二・坂野 登他編
教育心理学を学ぶ

陀摩武俊・藤永 保他編
幼児教育

△第2版V

藤永 保編

創造性教育

柏木恵子著

こどもの発達・学習・社会化

梶田正巳編

子どもはどう発達するか

上出弘之・小嶋謙四郎他編
こども相談

小嶋秀夫・松田 惺編

小学生の心理

陀摩武俊・安香 宏編
中学生の心理

斎藤耕二・加藤隆勝編

高校生の心理

平井信義・陀摩武俊他編
思春期相談

平井信義編
思春期

陀摩武俊・稲村 博編
登校拒否

陀摩武俊・星野 命編
性格は変えられるか

大橋正夫・佐々木 薫編

社会心理学を学ぶ

早坂泰次郎・山田雄一他編
職場青年の心理学

本島恵一・岡室哲雄他編
カウンスリングを学ぶ

前田重治・小川捷之編
精神分析を学ぶ

柴田義松・竹内常一他編
教育学を学ぶ

麻生 誠・潮木守一編
学歴効用論

竹内 宏・麻生 誠編
日本型学歴社会

中西信男・麻生 誠他編
就職―大学生の選職行動

天野正子・神田道子他著
女性人材論

西平直喜編
揺れる青春
心の奥底にひそむもの

潮木守一著

*青春の選択

山田由三郎著
少年院に閉ざされた青春

山村 健・天野郁夫編
青年期の進路選択

岡田正章編
保育教室

加藤正明・森岡清美編
ストレス学入門

佐治守夫・福島 章他編
ノイローゼ

大原健士郎・融 道男他編
鬱(うつ)病

飯田 貞・風祭 元編
分列病

斎藤 学・柳田知司他編
アルコール依存症

星 昭輝・原 常勝他著
てんかん

風祭 元編

心の病に効く薬

堀谷憲政・片岡邦三編
病氣と栄養

山村秀夫・美濃部 鶴著
いざと救急医療

石川 中・森沢 康編
健康哲学のすすめ

窪 徳忠・佐々木雄司編
生命哲学のすすめ

湯沢雅彦・新福尚武他編
不老学のすすめ

△改訂版V
加藤正明・湯沢雅彦他編
老年期

文学・歴史・哲学

久保田淳・上野 理編
概説日本文学史

伊藤 博・籠岡耕二編
万葉集を学ぶ

(1)巻一 (5)巻七
(2)巻二 (6)巻十一
(3)巻三 (7)巻十五・十六
(4)巻五・六 (8)巻十七・二十

木下正俊・籠岡耕二編
上代の文学

秋山 虔・藤平春男編
中古の文学

久保田淳・北川忠彦編
中世の文学

尾形 佑・松田 修他編
近世の文学(I)

尾形 佑・松田 修他編
近世の文学(II)

紅野敏郎・三好行雄他編
明治の文学

紅野敏郎・三好行雄他編
大正の文学

近代文学史2